



平成22年1月15日	県政記者クラブ配付資料
担当者	J R岐阜駅 アクティブG内 (財)岐阜県産業経済振興センター デザインセンター TAKUMI 工房運営担当 中林 信一
電話	058-269-3188 F A X : 058-269-3575
E-mail	nakabayashi@active-g.co.jp
アクティブG ホームページ	www.active-g.co.jp

「柿渋型絵染展」を開催します

財団法人岐阜県産業経済振興センター(岐阜市)では、「TAKUMI 工房 県民ギャラリー」(JR 岐阜駅・アクティブG)において、「柿渋型絵染展」を開催します。

今回は、本巣市在住の作家、林 亘子^{のぶこ}さんの作品を紹介します。

柿渋は、かつて、魚網染め、建築塗料等に利用されていましたが、戦後、合成樹脂や合成繊維の進出により、その需要は激減しました。しかし、数年前から、柿渋が見直され、インテリアや衣料等に使用されるなど、身近なものになりつつあり、人々の関心も高まっています。

林さんは、このような状況の下、時の経過とともに渋い濃い茶色になっていく柿渋の色の変化を楽しむとともに、多くの人に興味を持っていただけたら、と意欲的に制作に取り組んでみえます。

会場では、タペストリー、壁掛け、ティマットなど10数点を展示します。

この機会に、是非、柿渋特有の色の良さ、色の変化、奥行きを堪能して下さい。

1 期 間 平成22年1月21日(木)～1月31日(日)
10:00～19:00 (最終日は17:00まで)

2 場 所 JR岐阜駅・アクティブG 3階 県民ギャラリー ★入場無料
(岐阜市橋本町1-10-1)

3 主 催 (財)岐阜県産業経済振興センター

4 企 画 林 亘子

【プロフィール】

- ・2000年～「紅型」、「柿渋染め」について各先生に師事
- ・2007年 岐阜県美術展にて「型絵染」初入選
- ・2008年 岐阜県美術展にて「柿渋型絵染」県展賞
岐阜市美術展にて「柿渋型絵染」市長賞
- ・2009年 京都造形芸術大学通信教育部芸術学部美術科染織コース
卒業・現在、同大学院染織分野在学中
第31回日本新工芸展 初入選
*その他「本巣市美術展」にて2回市展賞受賞

出展によせて(林 亘子)

まだまだ未熟ですが、今まで学んだ事をここで披露し、広く皆様に柿渋の良さを知っていただきたいことと、これを機会に、ご指導・ご助言いただいたことを糧にさらに、より良い作品作りに励みたいと思っています。